

平成26年2月13日から平成29年4月18日に、当院 RI 検査室で  
DATscan 検査を受けた方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：パーキンソン病診断における T-123 イオフルパン SPECT と T-123 MIBG 心筋シンチグラフィーの有用性

研究期間：医学部附属病院長の許可日～平成30年3月31日

研究責任者：山梨大学医学部放射線医学講座 助教 梅田 貴子

当科では、平成26年2月13日から平成29年4月18日までの期間に、当院 RI 検査室で DATscan 検査を受け、さらに T-123 MIBG 検査を施行された患者さんを対象に、パーキンソン病診断における有用性について検討する研究を行います。この研究は、山梨大学医学部倫理委員会の審議に基づき、病院長の許可を得て実施するものです。

【研究の目的と意義について】

パーキンソン病の診断は臨床症状や薬剤への反応性をもとに行われてきました。2014年より脳内のドーパミントランスポータの発現を可視化できる検査(DATscan)が日本で利用開始となりました。このほかにも、パーキンソン病の診断に T-123MIBG シンチが用いられています。今回の研究ではこの両者を併用することがどれくらいパーキンソン病診断に有用であるかを検討します。

【研究の方法について】

対象となる患者様の診療録（カルテ）から次の情報を調査します。

- 背景因子（年齢、性別、臨床診断、罹患期間など）、
- 臨床データ（画像検査結果など）
- 治療薬剤、治療効果

また、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていないことはありません。

【個人情報の保護について】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報を利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠

慮なく担当医師にご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は以下の連絡先までお申し出ください。

**【問い合わせ等の連絡先】**

山梨大学医学部放射線医学講座

助教 梅田 貴子

電話 055-273-1111（代表）

（対応可能時間 平日9：00～17：00）